

緑の風

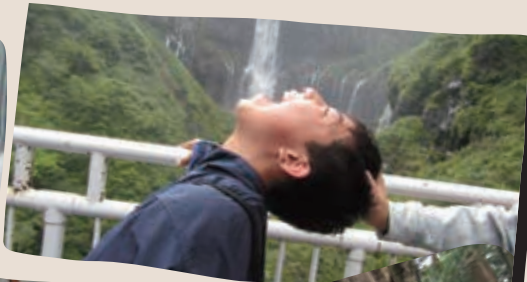
じっくりポイント1

予習をしました!

江戸時代の徳川家と、北極星の真下に位置する東照宮との歴史的背景を、事前に外部からお招きした鶴志田先生にじっくり教わりました。

6年生修学旅行 9月11・12日

日光東照宮の秘密に迫る!



じっくりポイント2

少数精鋭!?

例年より子どもたちの人数が少ない分、ゆったりじっくり行動でき、写真もいっぱい撮れました。また、こんなに態度の良い子たちは初めて!と校長先生も絶賛する行動ぶりでした。

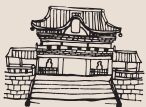
陽明門はよう見えんもん(笑)

じっくりポイント3

ガイドさんがすごい!

初めて各クラスにガイドをつけ、じっくり案内してもらいました。2組のガイドさんは、なんと!ブラタモリという番組でタモリさんを案内したこともある、日光では知る人ぞ知る大人気の「堂者引き」春日武えさんです。話のあちらこちらにギャグを散りばめ、子どもたちの心を驚つかみ。「面白すぎた!」「楽しかったし、見ながら説明してもらおうとすごく分かりやすかった!」「色んなものに深い意味が込められているのがよく分かった」と大満足でした。

毎日のように雨が降った9月、奇跡的にこの2日間は雨が降りませんでした。でも残念なことに、旅行のメインでもある日光東照宮は、平成の大修理と呼ばれる6カ年継続修理の真最中。見所がありませんので、クラス行動で東照宮をじっくり見よう!というのが今年のコンセプトでした。子どもたちは、事前の学習から始まり帰ってきてからの新聞作りまで、どっぷりじっくり東照宮につかりました。



2016年
夏休みを振り返る



ひらめきの夏！研究の夏！

入賞者に聞いた、創意工夫のヒント

夏休みのたびに、わくわく楽しく研究をする子もいれば、気が付けば最終日！何も思い浮かばないよ～（汗）という子もいる創意工夫展。入賞がすべてじゃないけど、やっぱり入賞した作品には、へえ～、すごいね！と思わせるきらめきがあります。ひらめき型、こつこつ型など、タイプは違えど、みんな日々の小さな疑問・興味をふくらませて作品作りをしているようです。

茅ヶ崎市・創意工夫部門で金賞受賞！

吉竹大気くん（4年）
『防災カブとくん』

僕が生まれて10年の間にとっても大きな震災が2回も起こりました。それをきっかけにアイデアが浮かびました。穴をあけるのに苦労しましたが、お父さんがドリルの使い方などを教えてくれました。

茅ヶ崎市・研究作品部門で金賞受賞！

加賀江健くん（5年）
『雨です！降水量計を作って天気予報を評価してみました』

3年前から天気・気温を調べ、去年は台風、今年は雨量に着目しました。昔から天気予報に興味がありました。来年も、自分が好きなテーマを考えてがんばりたいです。

茅ヶ崎市・創意工夫部門で銅賞受賞！
県展で優良賞受賞！

種村聡くん（3年）
『くつしたべら』

サッカーのくつ下をはく時、大変だったことでアイデアが浮かびました。お母さんに「おばあちゃんにくつ下をはかせてあげる時にも使えるといいね」と言われ、他の人でも使えるものにしました。

茅ヶ崎市・研究作品部門で銅賞受賞！

和田貫志くん（2年）
『こまのすごい色』

学校でぶんぶんごまの授業をして、家で回したら色が混ざってきれいだったから、色について調べてみることにしました。お母さんにアドバイスしてもらいながら、頭の中にあるものを具体的にすることに苦労しました。



都筑愛莉さん（6年）

こんなにもしっかりと平和への思いもっていることに、心が洗われる思いがしました。愛莉さん、ありがとうございました！

「私が出発することは、ご飯が食べられることや、家族がいることに感謝して生きること。また、自分が生きていることにほこりをもって生きることです。それがどんなに小さなけんかでも、大きなけんかでもこの世界から無くすことが平和につながる一歩だと思うので、自分ができることをとどんどん見つけて、平和な世界にしたいと思いました。」

とまっすぐなまなざしで答えてくれました。そんなまっすぐな印象の愛莉さんの作文から、今の私たちにとても大切なメッセージを感じたので、一部で紹介いたします。

「原爆資料館では、当時の様子をろう人形でイメージして展示があるんですが、それらが恐いからなくそうという人たちがいるそうなんです。でも私は、そういうのを見る気持ちや意識が大切だと思います。」

夏は平和作文コンクールで入選した、6年2組の都筑愛莉さん。夏休みに広島を訪れた時、どんな風に感じたかを聞いてみました。

平和のためにできること

／平和に思いを巡らす夏！／

ダンスクラブ

全日本小中学生ダンスコンクール小学生部門学校参加の部で銀賞受賞！
茅ヶ崎市教育功労者としても表彰されました。
今年は上級生が減った中、初めて活動に参加した4年生の声を聞いてみました。

「4年生だけで練習したり、家で自主練もしました。僕は夏休み練習にほとんど行けず、初めて全員練習に参加した時は、振りがとても進んでいて、泣きそうになったぐらいでした。今回は惜しくも銀賞でしたが、チャンスはあと2回あるので、そこで金をとりたいです！」
(H.Tくん／4年)

／ダンスの夏！／



パパボラ初企画

みどりの子夏祭り ～流しそうめん～

夏休み恒例となった「みどりの子夏祭り」が8月7日（日）に開催されました。今年はパパボラの新企画として「流しそうめん」が加わりました。夏の風物詩とも言える夏祭りとそうめん。おもしろい夏を満喫できましたでしょうか。お家で食べるそうめんとはひと味もふた味もちがう流しそうめん、パパボラと参加した子どもたちの声です。



パパボラ発足会で「やりたいね」と話をしたら、道具を借りられることになり、トントン拍子で実現しました。当日は存分にパパたちの本領発揮。楽しい催しになりました。子どもたちも本当に楽しそうで、是非来年もつなげて、恒例行事にしたいと思います。



パパボラKさん

思いのほか人気でおどろきました。そうめんのつゆが足りなくなるのではないかと心配になるくらいでした。途中、ミニトマトを流したのですがとても盛り上がりました。次回も変わり種を流してみるのもおもしろいかなあと。みんながとても楽しんでいたので毎年の恒例に出来たらと思いました。



Hちゃん

流しそうめんははじめてで、すごくおいしかった。みんなで食べるって幸せなんだね。



Yちゃん

流れてたそうめんはつかめなかったけど、ざるにたまっていたそうめんを食べられた。たのしかった。



Mくん

たくさん食べられてたのしかった。またやりたい！

毎年夏休みにP.G.T.主催で開かれている大工教室。平成17年に始まり、今年で12年目を迎えました。「モノづくりに興味をもってもらう」という目的で、土木建築にかかわる職人さん（*神奈川土建一般労働組合茅ヶ崎寒川支部のみなさん）が、希望する小学校で開催してくださっているものです。今年も7/31に41名が参加しました。毎年参加しているご家庭も多いですね。1年に1度ですが、積み重ねていくことで、モノづくりの面白さが伝わっているようです。

1年に1度を積み重ねて…
親と子の大工教室



参加者の声

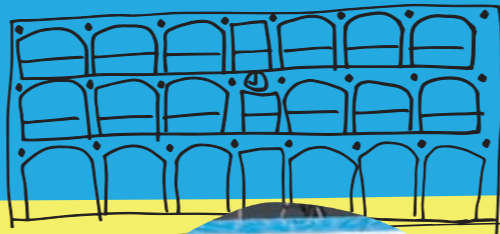


毎年作る作品が、自分の家で役立っています



卒業生・在校生・来年度入学予定の3人の子どもがいますが、毎年モザイクを作り続けて、将来家の壁に飾るのが夢です！

2016年10月29日(土)
第16回運動会「一致団結 勝利の道へ」



1年生
ルンルン♪たまいれ



チェッコリ玉入れ、
踊って、玉入れ、大忙し。



4年生 グルグルタイフーン



4年生

WAVE A FLAG～ともに～

ピシッと息のあった旗が
気持ちいい!!



5年生

あの旗をつかめ

棒を上げるの、
結構大変!
でも負けられない!!



5年生 緑小ソーラン

どっこいしょ～
どっこいしょ!!



1年生

ハビハビ♪ダンス

格好よく
決まった!?



端っこは
飛ばされそうになるよ～。



かわいい
ズートピアたちが
踊ります!

全力でトライエヴリシング!

2年生



2年生 大玉ころがし

旗を回るのが
難しいの!



3年生 全力☆エイサー

あ～いや
いや～さ～さ～。



みんなで力を
合わせて全力で!

3年生 全力☆棒引き



6年生 騎馬戦～風林火山～

手作り!の兜も
なかなかよかったです!



6年生

組立体操一絆

六年間の
思いを込めて。

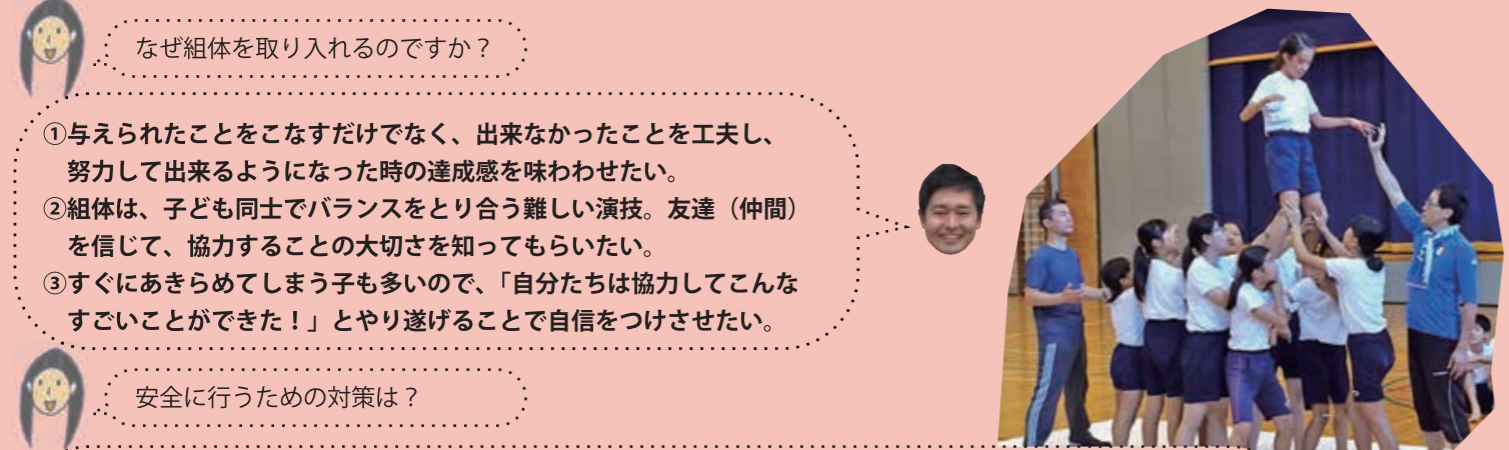


例年は5、6年生が運動会の係を行っていましたが、今年から4年生も参加。どの係もみんなそれぞれの役割をとにかく一生懸命に果たしました! 運動会の成功は、係のみんなの支えあってのものです!!



56人が一つにつながる瞬間 ～組体操への取り組み～

毎年、感動の涙があふれる組体操（組体）。今年も、大成功に終わった演技はもとより、子どもたちの緊張した真剣な眼差しや終わった後の達成感あふれる自信に満ちた表情がとても印象的で感動しました。この組体の演技と姿勢に、いつか私も！と憧れる下級生が多くいるのも頷けます。ですが近年、安全性を配慮して組体操を取り入れない学校も増えてきています。そこで、緑小の組体に対する考え方や取り組み方について、6年担任の角田先生にお聞きしました。



- なぜ組体を取り入れるのですか？
- ①与えられたことをこなすだけでなく、出来なかったことを工夫し、努力して出来るようになった時の達成感を味わわせたい。
 - ②組体は、子ども同士でバランスをとり合う難しい演技。友達（仲間）を信じて、協力することの大切さを知ってもらいたい。
 - ③すぐにあきらめてしまう子も多いので、「自分たちは協力してこんなすごいことができた！」とやり遂げることで自信をつけさせたい。

- 安全に行うための対策は？
- ①前期の体育で器械体操を取り入れ、基本的なことを身に付けさせる。
 - ②6月に組体実行委員を発足。委員が先に練習をし、注意点やポイントを確認し皆に説明する。先生が子どもを引っ張るだけでなく、委員が中心となることで子どもたちの自覚を芽生えさせる。
 - ③技の習得だけでなく、体育館に入る前は上履きをきちんと並べるなど、練習に取り組む姿勢を大事にする。
 - ④小さい技は2チーム制にして、1チームは補助。大きい技は担任以外の先生にも入ってもらい、先生が必ずサポートする。
 - ⑤ケガが心配なので、子どもたちの集中力や状態が良くなければ練習時間をきりあげる。

子どもたちの声

組体はたくさんの人の絆でできている。先生たちや見守ってくれている人たち、6年生みんな。

先生たちが僕らを信じてやらせてくれたことが「すごい」と思った。

組体がうまいとかではなく、友達を大切にすることが組体。

「出来ないのは練習不足」先生に言われた言葉が印象に残ってる。毎日朝練に行き練習もきつかったけど、出来た時は本当に嬉しかった。

56人が一つに繋がった瞬間を感じた。

目が見えないってどういうこと？

授業を終えて～子どもたちの感想～

「もし街中で困っている人を見かけたらどうする？」そんな話し合いを子どもたちとしてみるのも大切なことだな、と感じる授業でした。

目が見えなくても、家の外を1人で歩けるなんて、知らなかった。授業の後、街で点字やタイルに気が付くようになった。

授業を受ける前は目の見えない人を気にしたことがなかったけど、アイマスクや点字体験をして目の見えない人がどんなにつらいのか、苦労をしているのか分かった。アイマスク体験では目が見えない状態がどんなに怖いのか身にしました。これからは、障害のある人に会ったら声をかけたい。

28歳で視力を失ったという畠山さんのお話は、子どもたちだけでなく、私たち大人にとってもためになる内容でした。白杖を持った方を街中で見かけたら、ぜひ「何かお手伝いしましょうか？」の一言をかけてあげてください。「その一言がとてもありがたかったです。」とおっしゃっていました。

9月27日、4年生に向けた福祉体験学習として、視覚障害者の方のお話を伺ったり、アイマスクをして実際にどういう感じかを体験してみたり、点字の読み書きなどを学習しました。

自分がもし目が見えなくなったら、あんな風に行けるかな。畠山さんは大変なことがいろいろあると話していたけど、すごく元気だった。

アイマスクをして歩いた時、周りで人の話し声がするだけで当たりそうに怖かった。前から声がかかるのが後ろからなのも分からないし、色々な音が気になってドキドキした。知らないことがたくさんあったから、目の見える私は気を付けてあげたいと思いました。

大地震発生 ～緑小・防災倉庫の中身は？～

シリーズ2

近年、自然災害が多発しています。各家庭でも災害時の対応について話し合う機会が増えていることと思います。家庭でどこまで備えるべき？避難所になる学校には、どんなものが備蓄されているの？そんな疑問をきっかけに、今回は防災倉庫の中身にせまってみました。

「防災倉庫ってどこにあるの？」

➡ 緑が浜小学校には2カ所に設置されています。どちらも茅ヶ崎市の管理下で年に1回の定期点検があります。

①体育館横（駐輪場向かい）

手押し車は泥や荷物の搬出入に使います。実際の災害時に不足していたというニュースもあったので、備えがあって安心しました。

②給食センター裏（銀色のコンテナ）

備蓄されているもの

食糧（乾燥米150食・クラッカー1140食）、毛布580枚、仮設組立トイレ15台・簡易トイレ42個・ちり紙・汚水処理剤、他に、100トン水槽機材、給食資機材、救助器具、医療品、電気備品、燃料、台車、プライベートテントなど

ご存知ですか？100トン水槽。

すべり台の近くに取水口があります。探してみてくださいね！

地下には100トンもの水道水を貯蔵できる大水槽があり、災害時にこの地域で1週間必要なお水をほぼカバーできると言われています。同様の設備は、市内に8カ所、近隣では浜須賀中学校にもあるそうです。

松浪中学のみんなも見学に来てました。

取材当日、松浪中学校の生徒さん約80名が当校の防災設備を見学に来ていました。倉庫の簡易トイレの組み立ては中学生が行えるようトレーニングもされているそうです。怪我等に対応するための医療品は松浪中学校に配置されているとのことでした。地域の連携プレーも大切なのですね。

学校の備蓄品を見て、自宅での備えと照らし合わせ、補充するものなど考えたいと思います。学校を訪れた際には防災倉庫にも注目してみてくださいね！

◎自宅での備蓄は7日分を！～茅ヶ崎市～
<http://www.city.chigasaki.kanagawa.jp/bosai/1001304/1001376.html>

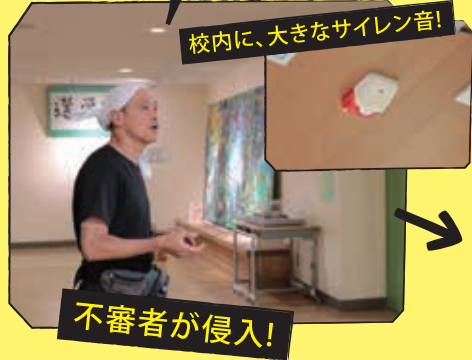
◎1週間分の食料備蓄例 ～ベターホーム～
<http://www.betterhome.jp/info/3771>

不足しがちな野菜の備蓄も参考になります



緊急事態！緊急事態！ 不審者が侵入！！

9月30日、不審者訓練が行われました。訓練とはいえ、どの学年も子どもたちはふざけることもなく、とても真剣に先生の指示に従い、話を聞いていました。学校にいるから先生が守ってくれる、ではなく、こういった具体的な訓練を繰り返すことで、一人一人の意識が高まり、体で覚えるということが、いざという時に素早く対応できるようになる秘訣なのでしょうね！



校内に、大きなサイレン音！

不審者が侵入！



先生の指示に従い、廊下側に机や椅子でバリケード。



教室の端に身を寄せ、不審者が取り押さえられるまで待つ。



保護者引き取り。



各教室から職員室に生徒の無事を内線で報告。



保護者へ引き取りメールを一斉送信。



不審者取り押さえ完了！校内放送でアナウンス。

皆さんこんにちは。緑が浜小学校に着任して早、半年が経ちました。休み時間になると、のびっこは元気いっぱいの子どもの賑やかな笑い声で溢れています。遊びに来るのは1、2年生が多いですね。1、2年生は、誰かに話を聞いてほしくて、学校のことお家のことなど色々話してくれます。悩み事が出てくるのは3年生位からでしょうか。相談は3〜5年生の女子が多いですね。でも、高学年になるにつれ相談が多くなるかといえはそうではなく、6年生になると自分たちで悩みを相談し解決できることも増えるせいか、相談はほぼありません。

のびっこのドラえもんです！



心の教育相談 松尾 明海 先生

先生質問です！

のびっこルーム(こころの相談室)ってどんなところか、皆さんご存知ですか？
今回は、先生という立場ではないところから子どもたちと接している、心の教育相談員・松尾明海さんに、のびっこルームの様子についてうかがいました。

編集後記

今回も盛りだくさんの内容となりました。毎回、内容を絞るのも一苦労なのですが、今回は防災についてくみなさんにより意識を高めていただけたらという思いもあり、今までなんとなく、で素通りしていたことを敢えて大きく取り上げてみました。子どもと離れている時間に大きな災害が起こった時、どう対処していくか？これを機にぜひ家庭でも子どもたちと確認し合えたらいいですね。2016年も終わりを告げようとしています。新しい年もみんな元気に笑顔で過ごす毎日を祈ります。今年1年「緑の風」を読んでいただきありがとうございました！来年もどうぞよろしくお願いたします。



メンバー 随時募集中！

宅見

初鹿

吉竹

岩崎

大西

大西ババ

人見